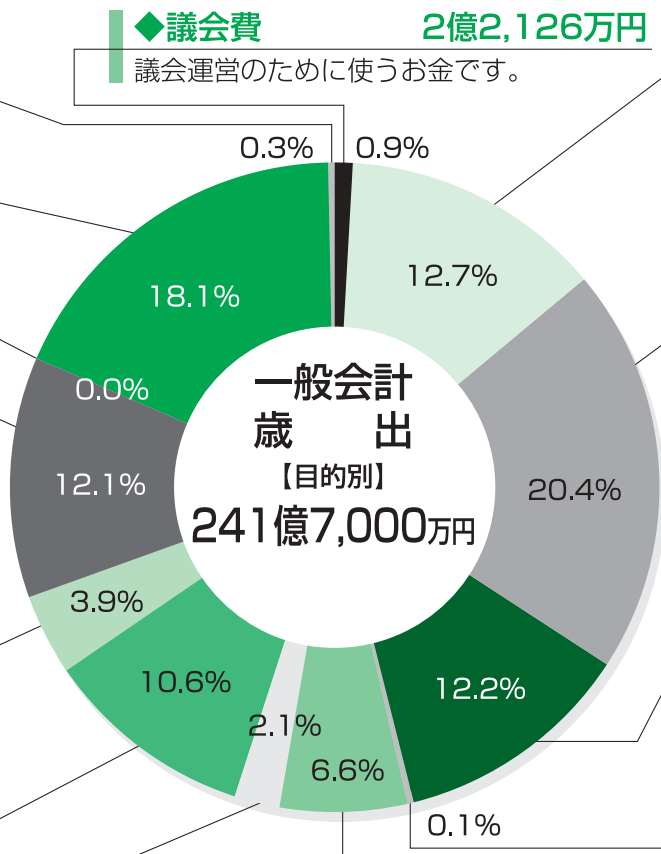


平成19年度の予算が3月議会で承認を受け決定しました。

今年度の一般会計予算は241億7千万円で、前年度と比べ13.1%の大幅な減となっています。これは、前年度合併特例債の活用により造成した「地域活性化基金」約37億3千万円の影響によるもので、これを差し引くと、実質0.4%の微増になります。

歳出の面では、勸奨退職などにより人件費は2.6%（約1億4千万円）の減となりましたが、「地域活性化基

億7,000万円 実質0.4%の増



◆議会費 2億2,126万円

議会運営のために使うお金です。

◆総務費 30億7,806万円

課税徴収、選挙、統計調査、一般事務等、市の総括的事務に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・コミュニティ推進事業 ……8,676万円
- ・高島版・地域自治組織推進事業 ……1億300万円
- ・地域活性化調査事業 ……265万円
- ・エコツーリズム推進事業 ……296万円
- ・公共交通対策事業 ……2億7,799万円

◆民生費 49億3,003万円

児童・障害者・高齢者等の福祉関係に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・福祉総合交通利用助成事業 ……1,662万円
- ・障害者地域生活支援事業 ……7,120万円
- ・児童手当支給事業 ……3億6,349万円
- ・児童虐待防止ネットワーク事業 ……146万円
- ・地域子育て支援センター事業 ……1,657万円
- ・子ども家庭心のケア事業 ……1,158万円

◆衛生費 29億3,880万円

保健衛生、ゴミ処理等安全で衛生的な生活のために使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・食育事業 ……361万円
- ・健康診査事業 ……6,446万円
- ・環境保全対策事業 ……2,442万円
- ・一般廃棄物収集事業 ……3億489万円
- ・環境センター管理運営事業 ……3億5,937万円
- ☆ストックヤード建設事業 ……7,140万円
- ・し尿処理施設管理運営事業 ……1億3,871万円

◆労働費 1,292万円

労働施設の管理に使うお金です。

◆農林水産業費 15億9,143万円

農業、林業や水産業の振興に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ☆農地・水・環境保全向上対策事業 ……5,711万円
- ・琵琶湖森林づくり税事業 ……5,756万円

◆商工費 5億844万円

商店街の活性化対策や観光事業の振興に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ☆特産品販売促進事業 ……394万円
- ☆びわ湖・里山観光振興特区推進事業 ……692万円
- ☆県版特区高島観光おもてなし推進事業 ……2,837万円
- ☆中央分水嶺高島トレイル整備事業 ……500万円
- ☆スポーツ・ツーリズム推進事業 ……123万円

トク使います。・歳出の内訳

※1万円未満は切り捨て、それぞれの項目での端数整理はしてありません。☆印は新規事業

金」を効果的に運用するため、据え置き期間なしの償還などで公債費（市の借金返済額）は9.6%（約3億8千万円）の増となりました。義務的経費全体では、前年と比べ1.8%増の約121億円となり、歳出の2分の1を占めています。一方、経常経費の削減の取り組みにより物件費は3.5%（約1億5千万円）の減、施設の老朽化による維持補修費の増などにより、一般行政経費は前年の0.8%減の62億7千万円となり、義務的経費の増加などにより抑制を余儀なくされた投資的経費は4.2%減の約20億3千万円となりました。

歳入の面では、税源移譲などにより市税収入が4億9千万円の増となるものの、三位一体改革の移行期間中、政策的に実施されていた所得譲与税が廃止され、地方譲与税は約4億2千万円の減額、また、定率減税の廃止により地方特例交付金は約1億円の減額となります。一方、地方交付税は、合併特例債の償還分の増額により5千万円増の95億円となりました。なお、国庫支出金は、合併補助金の制度変更に対応し、今後の懸案事業に充当するため、今年度事業を減少させたことから4億7千万円の減となる一方、県支出金は森林づくり県民税や藤樹の里文化芸術会館の運営事業などで約3億6千万円の増額となるものの、なお不足が生じるため、財政調整基金など貴重な積立財源を前年度並みに14億5千万円を取り崩し、収支の均衡を図っています。

平成19年度一般会計予算 241

平成19年度
予算総額

487億2千万円

一般会計……………241億7千万円
特別会計……………191億8千万円
事業会計……………53億7千万円

■特別会計 191億8,000万円

国民健康保険特別会計……………54億3,012万円
事業勘定……………53億4,430万円
直診勘定……………8,581万円
老人保健医療特別会計……………52億5,504万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計……………174万円
簡易水道事業特別会計……………6億5,823万円
農林業集落排水事業特別会計……………6億4,162万円
下水道事業特別会計……………33億9,397万円
マキノ白谷温泉事業特別会計……………381万円
市営バス事業特別会計……………2,717万円
熱供給事業特別会計……………1,486万円
土地取得特別会計……………4,972万円
介護保険事業特別会計……………36億3,297万円
訪問看護ステーション事業特別会計……………7,070万円

■事業会計 53億7,342万円

上水道事業会計……………8億9,346万円
病院事業会計……………41億4,766万円
介護老人保健施設事業会計……………3億3,229万円

◆その他 6,982万円

諸支出金……………3,982万円
予備費……………3,000万円

◆公債費 43億8,303万円

市の借金を償還するために使うお金です。

◆災害復旧費 601万円

災害の復旧に使うお金です。

◆教育費 29億3,278万円

教育全般の事務や事業に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・学校安全防犯対策事業……………108万円
- ☆スクールガード活動支援事業……………80万円
- ☆マキノ中学校屋内運動場改築事業……………4億2,883万円
- ☆中江藤樹生誕400年記念事業……………762万円
- ・藤樹の里文化芸術会館施設改修事業……………1億5,000万円
- ☆びわこ小学生駅伝大会開催事業……………65万円
- ☆スポーツレクリエーション高島開催事業……………29万円
- ☆日本マスターズ自転車競技会開催事業……………100万円

◆消防費 9億4,698万円

消防事務や防災対策などに使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・防火水槽設置事業……………4,258万円
- ・災害対策一般事業……………4,052万円

◆土木費 25億5,037万円

道路や公園等の整備に使うお金です。特徴的な事業は次のとおりです。

- ・市道上戸線道路改良事業……………4,058万円
- ・市道小田川堤防線他道路改良事業……………158万円
- ・市道桂村ノ内線道路改良事業……………2,972万円
- ・市道平井藁園1号線整備事業……………6,537万円
- ☆市道カニ川カイト線外防雪事業……………432万円
- ・リバーサイド地区河川改修事業……………700万円
- ・県営急傾斜地崩壊対策事業……………900万円
- ・公営住宅建設事業……………1,610万円